

第29回「今後の難病対策」 関西勉強会 in 大阪

〈テーマ〉

『ヘルプマーク』 温故知新！？

NPO 法人ハート・プラスの会 代表理事 鈴木 英司 氏
線維筋痛症友の会 関西支部・大阪部会 尾下 葉子 氏

寝屋川市立保健福祉センター
〒 572-8533
大阪府寝屋川市
池田西町 28 番 22 号
TEL:072-824-1181(代表)



〔日時〕

2017 年 12 月 17 日 (日)

13:15 ~ 16:30

13:00 受付開始

13:15 ~ 16:30 勉強会

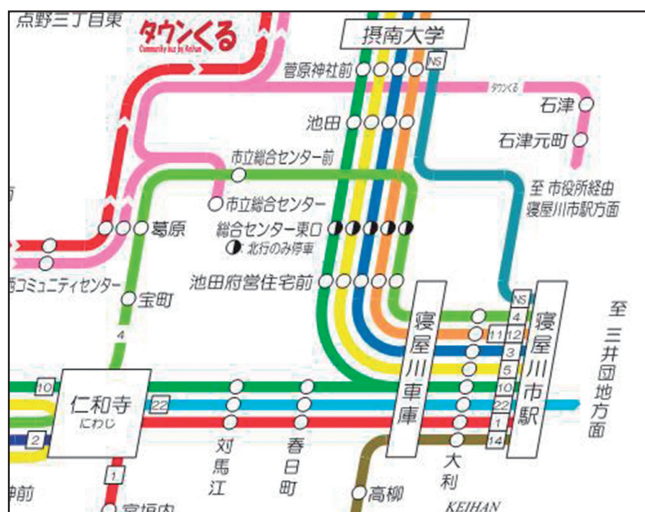
〔会場〕

寝屋川市立保健福祉センター

5階 会議室1・2

〔協力費〕

500 円 (当日徴収いたします)



〔会場へのアクセス〕

- ◎京阪電鉄「寝屋川市駅」下車
西口バスのりばより京阪バスを利用
・のりば1より(約7分間) 230 円
系統4のバス12時37分発
「市立総合センター前」下車
・のりば3より(約6分間) 230 円
系統11のバス12時48分発
「総合センター東口」下車
- ◎地下鉄谷町線「大日駅」から京阪バス
京阪電鉄「守口市駅」から京阪バスも可

関西勉強会のホームページでも確認できます。

<http://kansaibenkyo.net/>

2017 年 11 月

難病・患者団体および個人のみなさま

第 29 回「今後の難病対策」関西勉強会のご案内

2012 年に都営地下鉄大江戸線で最初に導入された「ヘルプマーク」が、現在全国の多くの自治体などで配布されて話題を集めています。このヘルプマークは、「義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、または妊娠初期の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう、作成したマーク」ということです。

関西でも時々街なかでこのマークを付けている方を見かけるようになり、SNS 上などでマークの存在や意味をアピールしているのもよく見かけます。以前よりは「見えない困りごと」に関心が集まっているようです。私たちはこの機会を、自分達の活動や日常の暮らしにどう活かしていけばいいのでしょうか。

今回は、以前から「ハートプラスマーク」という内部障害者対象のマークを作って育ててこられた「ハートプラスの会」の取り組みをお聞きすることを通して、各患者会や疾患ごとのヘルプマークへの課題や期待を交流したいと思います。

関西勉強会実行委員長 京都 I B D 友の会会長 藤原 勝

- ◎参加を希望される団体および個人は、団体名・連絡先・参加者名などをお書きのうえ、メールや F A X 等により、下記の事務局（大黒）までご連絡ください。
（当日の申し込み無しの参加は、会場の都合により、お断りする場合もございます。）

メール送信の場合（benkyo@t-neko.net）関西勉強会事務局へ
F A X 送信の場合（072-222-4468）おおぐろへ切り取らずに送信ください。

団体名（個人名） _____ 記入日 2017 年 月 日

疾患名（ _____ ）

連絡先（今後の案内の送付先などをお知らせください）

住所：〒 _____

電話： _____

F A X： _____

メールアドレス： _____

◎第 29 回関西勉強会に 参加します 参加できません

参加者名（団体の場合は役職名も記入してください） _____